

「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な回答数を百分率で表しています。

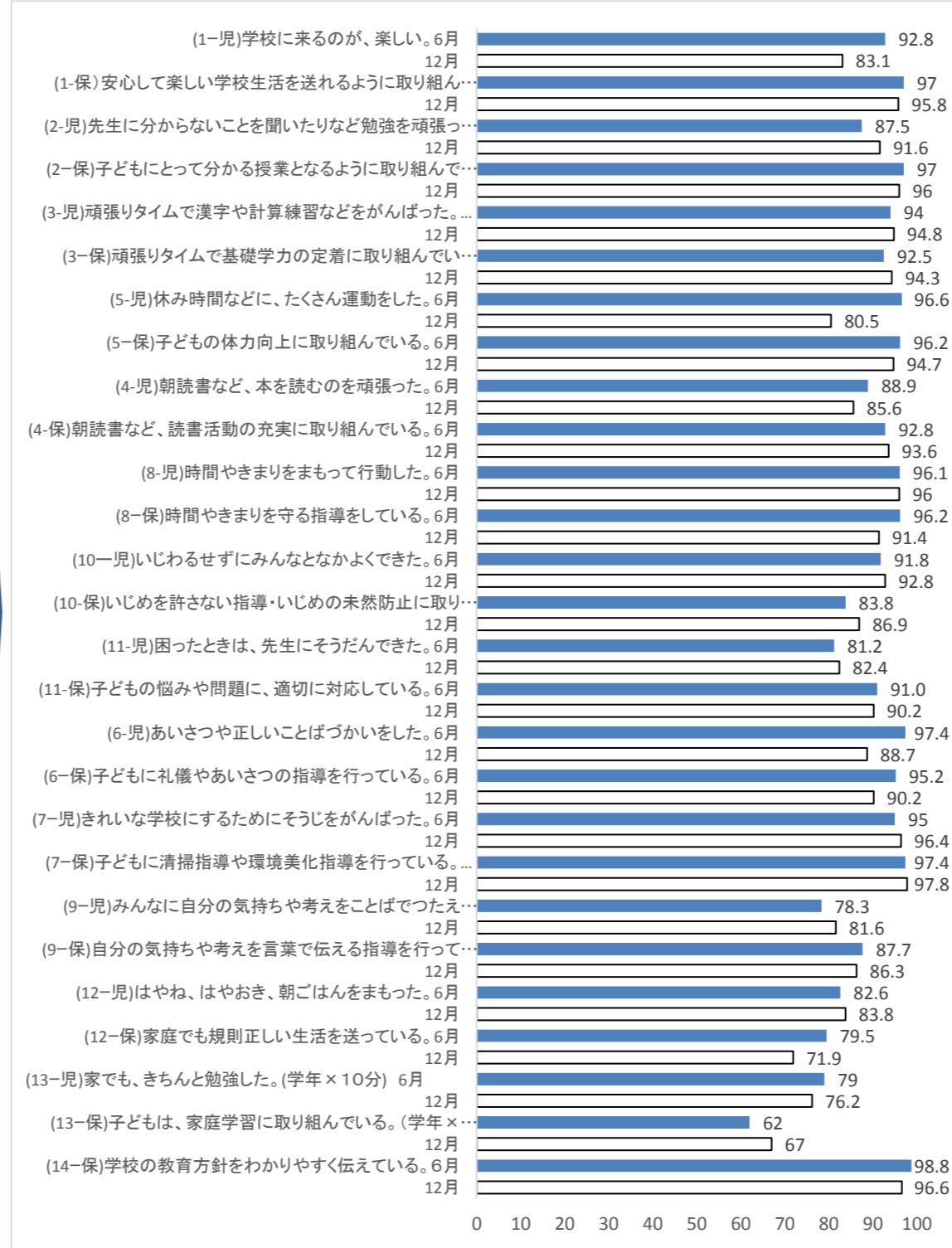
6月と12月の  
変化

項目	月	質問内容の項目(児:児童用、保:保護者用)			項目	
学校生活	6月	(1-児)学校に来るのが、楽しい。	92.8	-9.7	児童	学校生活
	12月	(1-児)学校に来るのが、楽しい。	83.1			
	6月	(1-保)安心して楽しい学校生活を送れるように取り組んでいる。	97	-1.3	保護者	
	12月	(1-保)安心して楽しい学校生活を送れるように取り組んでいる。	95.7			
授業	6月	(2-児)先生に分からないことを聞いたりなど勉強を頑張った。	87.5	4.1	児童	授業
	12月	(2-児)先生に分からないことを聞いたりなど勉強を頑張った。	91.6			
	6月	(2-保)子どもにとって分かる授業となるように取り組んでいる。	97	-1	保護者	
	12月	(2-保)子どもにとって分かる授業となるように取り組んでいる。	96			
頑張りタイム	6月	(3-児)頑張りタイムで漢字や計算練習などをがんばった。	94	0.8	児童	頑張りタイム
	12月	(3-児)頑張りタイムで漢字や計算練習などをがんばった。	94.8			
	6月	(3-保)頑張りタイムで基礎学力の定着に取り組んでいる。	92.5	1.8	保護者	
	12月	(3-保)頑張りタイムで基礎学力の定着に取り組んでいる。	94.3			
体力向上	6月	(5-児)休み時間などに、たくさん運動をした。	96.6	-16	児童	体力向上
	12月	(5-児)休み時間などに、たくさん運動をした。	80.5			
	6月	(5-保)子どもの体力向上に取り組んでいる。	96.2	-1.5	保護者	
	12月	(5-保)子どもの体力向上に取り組んでいる。	94.7			
読書活動	6月	(4-児)朝読書など、本を読むのを頑張った。	88.9	-3.3	児童	読書活動
	12月	(4-児)朝読書など、本を読むのを頑張った。	85.6			
	6月	(4-保)朝読書など、読書活動の充実に取り組んでいる。	92.8	0.8	保護者	
	12月	(4-保)朝読書など、読書活動の充実に取り組んでいる。	93.6			
時間	6月	(8-児)時間やきまりをまもって行動した。	96.1	-0.1	児童	時間
	12月	(8-児)時間やきまりをまもって行動した。	96			
	6月	(8-保)時間やきまりを守る指導をしている。	96.2	-4.8	保護者	
	12月	(8-保)時間やきまりを守る指導をしている。	91.4			
いじめ	6月	(10-児)いじめをせずにみんなとなかよくできた。	91.8	1	児童	いじめ
	12月	(10-児)いじめをせずにみんなとなかよくできた。	92.8			
	6月	(10-保)いじめを許さない指導・未然防止に取り組んでいる。	83.8	3.1	保護者	
	12月	(10-保)いじめを許さない指導・未然防止に取り組んでいる。	86.9			
悩み	6月	(11-児)困ったときは、先生にそうだんできた。	81.2	1.2	児童	悩み
	12月	(11-児)困ったときは、先生にそうだんできた。	82.4			
	6月	(11-保)子どもの悩みや問題に、適切に対応している。	91.0	-0.8	保護者	
	12月	(11-保)子どもの悩みや問題に、適切に対応している。	90.2			
挨拶	6月	(6-児)あいさつや正しいことばづかいをした。	97.4	-8.7	児童	挨拶
	12月	(6-児)あいさつや正しいことばづかいをした。	88.7			
	6月	(6-保)子どもに礼儀やあいさつの指導を行っている。	95.2	-5	保護者	
	12月	(6-保)子どもに礼儀やあいさつの指導を行っている。	90.2			
掃除	6月	(7-児)きれいな学校にするためにそうじをがんばった。	95	1.4	児童	掃除
	12月	(7-児)きれいな学校にするためにそうじをがんばった。	96.4			
	6月	(7-保)子どもに清掃指導や環境美化指導を行っている。	97.4	0.4	保護者	
	12月	(7-保)子どもに清掃指導や環境美化指導を行っている。	97.8			
伝える	6月	(9-児)みんなに自分の気持ちや考えをことばでつたえた。	78.3	3.3	児童	伝える
	12月	(9-児)みんなに自分の気持ちや考えをことばでつたえた。	81.6			
	6月	(9-保)自分の気持ちや考えを言葉で伝える指導を行っている。	87.7	-1.4	保護者	
	12月	(9-保)自分の気持ちや考えを言葉で伝える指導を行っている。	86.3			
生活習慣	6月	(12-児)はやね、はやおき、朝ごはんをまもった。	82.6	1.2	児童	生活習慣
	12月	(12-児)はやね、はやおき、朝ごはんをまもった。	83.8			
	6月	(12-保)家庭でも規則正しい生活を送っている。	79.5	-7.6	保護者	
	12月	(12-保)家庭でも規則正しい生活を送っている。	71.9			
家庭学習	6月	(13-児)家でも、きちんと勉強した。(学年×10分)	79	-2.8	児童	家庭学習
	12月	(13-児)家でも、きちんと勉強した。(学年×10分)	76.2			
	6月	(13-保)子どもは、家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分)	62	5	保護者	
	12月	(13-保)子どもは、家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分)	67			
説明	6月	(14-保)学校の教育方針をわかりやすく伝えている。	98.8	-2.2	保護者	説明
	12月	(14-保)学校の教育方針をわかりやすく伝えている。	96.6			

今回の保護者の肯定率平均は、89.5%でした。6月は、90.5%でしたからほとんど変化はありませんでした。2学期の学校の取組も1学期同様に評価して下さったことに対して、厚くお礼申し上げます。また、6月より多くのご回答いただきましたこと、たくさんの記述をいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

これから、6月と12月の変化のある項目に着目して、学校の取組を振り返り、成果や課題を見出します。それを、来年度の計画に活かしたり、あるいは、3学期からできることにはすぐ着手したりして、改善を図っていきます。今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

左表の肯定的な回答率をグラフに表しました。(上段 ■6月、下段□12月)



保護者からの声 (自由記述より)

○学校へ行くと、先生方も子どもたちもとても気持ちよく挨拶をしてくれてうれしく思います。

○4月から比べ、子どもの様子がとても落ち着き、成長を感じています。今後、どのような成長を見せてくれるか楽しみです。

○学校では、先生方がいろいろな方向から子ども達を見守り声をかけて下さり、ありがたく思っています。トラブルがあるのがあたりまえで、それをどのように乗り越えていくかを伝えるのが、親や周りの大人なのだと思います。

○給食時間、食べる時間が15分ほどしかないので、準備等もあると思いますが、もう少しゆっくり食べれた方がよいのでは？

○楽しく学校に通っています。特に大きなトラブルもないのですが、トラブル(ケンカ等)がなければ相手の気持ちを思うきっかけがなかなかないのでは？と思います。ただでさえ、ケンカのないクラスのようなので、そういうところから相手の立場に立てない言動が出てくるのかなと感じました。

○いじめの問題に関してはもう少ししっかりと指導が必要です。

○理解し、応用するのに、時間のかかる我が子ですが、かけ算を歌にして覚えるやり方でおどろくほどスムーズにマスターすることができていて、先生の工夫に感謝しております。いつも色々な工夫で子ども達のやる気と興味を引き出して下さる先生方今後ともよろしく願いいたします。

○楽しく学校に通っています。

○とても楽しく学校生活送っているように思います。勉強も、理解できているようです。今後ともよろしく願いいたします。

○先生方の温かい見守りや息子にあった対応を検討していただき、大変感謝しております。今後とも、家庭と学校とで、意見交換しながら成長を見守りよろしく願いいたします。

○子ども達が元気いっぱい楽しく学校生活を過ごせるのは、とてもいいことだと思うのですが、きちんとルールを守り、けじめをつけての上のことだと思います。もう少し静かに落ち着いて授業にのぞめることを願います。

○家庭での学習がまったくできていないので時間の確保や何かやる気を起こさせる工夫を考えていきたいと思っています。

○学芸会では学年による成果の差が大きく感じました。もう少し難易度を上げてよさそうだったり、声の大きさ、元気のないクラスもありました。担任の他にアドバイスをしてもらうのは難しいのでしょうか。担任は決まっているかもしれませんが、みんな(学校全体)でもりあがれるといいなと思います。一方、今まで直接関わってもらった先生方にはいつも真剣に誠実な対応をしていただき感謝しています。

○あいさつすばらしいですね。

○参観日の全体懇談の時に、いじめに対してどのような取組をしているのか、詳しく教えていただき、手厚い対応に安心しました。

3学期は、今の学年の学習や生活のまとめ、次の学年へと向かう準備の学期です。学習したことを家庭学習として復習する姿勢と習慣。自分の気持ちや考えたことを伝え、互いのコミュニケーションが促進するための適切な言葉づかいの指導。寒く閉じこもりがちになりますので、体を動かす機会を増やす工夫(縄跳びチャレンジカップへの取組)。この3つの取組を通して、子ども達の評価が低い結果となった「家庭学習」「体力向上」「自己表現」に対応していきます。



